

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2012年10月期 通期連結業績

通期売上高 331 億円前年並み

超大型新店販管費増により営業利益・経常利益減益

売上高	33,114 百万円	(前年比	99.1%)
営業利益	717 百万円	(前年比	65.9%)
経常利益	593 百万円	(前年比	58.6%)
当期純利益	108 百万円	(前年比	23.7%)

当連結会計年度は、売上面では、当社グループの主軸である 蔦屋書店 事業において、レンタルの映像部門での低価格戦略を当期は継続的に展開し、これにより来店客数およびレンタル貸出本数が増えたものの、単価引下げによる売上減少をカバーできなかったことが減収の要因となり、全店では売上高前年比 99.4%、既存店の売上高前年比は 94.9%となりました。

利益面では、超大型新店の出店に伴う販管費の増加により、営業利益・経常利益ともに前年同期に比べ減益となりました。また、第2四半期に固定資産の減損損失 189 百万円を特別損失に計上し、当期純利益は、108 百万円(前年比 23.7%) となりました。

● 主力商品の書籍・文具が好調

書籍は売上高前年比 104.3%(既存店 98.1%)、文具は売上高前年比 111.6%(既存店 101.5%)と好調に推移し、業績に寄与いたしました。書籍は新店が底上げとなり、文庫・児童書・学参等を中心に前年を上回りました。文具も新店が底上げとなり、商品充足率強化・売場の改装・商品の入替の取り組みが奏功し、既存店実績でも前年を上回る好調な推移となりました。

● 2013年10月期 通期連結業績予想 (2012年11月1日～2013年10月31日)

2013年10月期は、超大型複合店の新規出店を2店(2012年11月にひたちなか店オープン)、既存店1店の大型改装を予定しております。2012年3月にオープンしましたフォレオ菖蒲店も寄与し大幅な増収を見込んでおります。

また、レンタルの低価格戦略により増加しました来店客数をもとに、品揃え強化・MIX 売場等の展開で複合店舗としての相乗効果を生み出し、更なる集客力強化を進めてまいります。

なお、引き続き仕入原価見直しおよび運営効率改善を図り、大幅な収益体質の改善に取り組んでまいります。

このことから、下記のとおり予想しております。

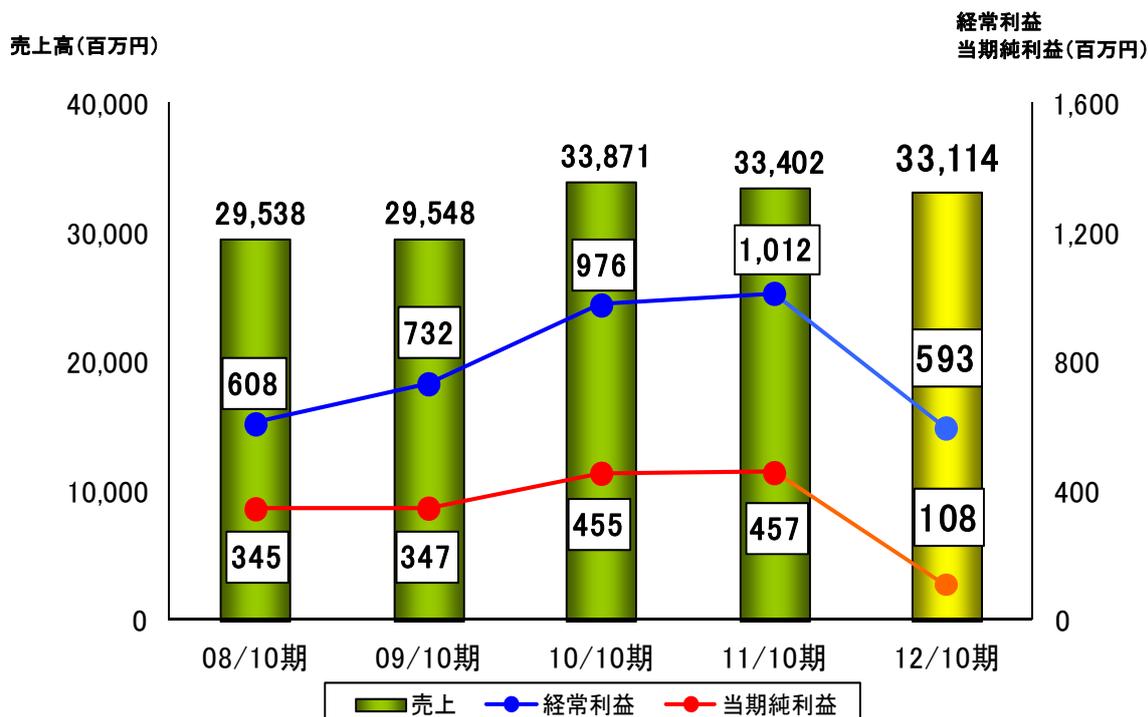
売上高	38,300 百万円	(前年比	115.7%)
営業利益	1,270 百万円	(前年比	177.0%)
経常利益	1,200 百万円	(前年比	202.1%)
当期純利益	660 百万円	(前年比	607.6%)

1. 連結業績の概要

【連結サマリー】

(百万円)

	2011年10月期		2012年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,402	100.0	33,114	100.0	99.1
売上総利益	10,804	32.3	10,701	32.3	99.0
営業利益	1,088	3.3	717	2.2	65.9
経常利益	1,012	3.0	593	1.8	58.6
当期純利益	457	1.4	108	0.3	23.7
EPS(円)	38.12		9.05		23.7



【蔦屋書店部門サマリー】

(百万円)

	2011年10月期		2012年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,404	100.0	32,197	100.0	99.4
売上総利益	10,467	32.3	10,370	32.2	99.1
営業利益	1,006	3.1	641	2.0	63.7
経常利益	1,026	3.2	647	2.0	63.1
当期純利益	480	1.5	165	0.5	34.5
EPS(円)	40.01		13.79		34.5

2. 商品別売上高の状況

- ・ 書籍は新店の業績が寄与し、また売上上位商品の充足率強化および定番商品の品揃え強化により売上の底上げを図ったことが奏功いたしました。
- ・ レンタルは映像部門での低価格戦略により、来店客数およびレンタル貸出本数は増加したものの単価引き下げによる減少をカバーできず前年比減収となりました。
- ・ 文具は新店の業績が寄与し、また商品充足率強化・売り場の改装・商品の入替の取り組みが奏功し、売上を順調に伸ばしております。
- ・ 販売用CD・DVDは発注精度の向上による在庫効率化と商品提案力の強化に取り組んでおります。

(百万円)	2011年10月期	2012年10月期			既存店	
	金額	金額	増減額	前年比	前年比	
蔦屋書店部門	書籍	14,091	14,703	611	104.3	98.1
	レンタル	7,781	6,900	△882	88.7	88.1
	販売用CD	2,915	2,829	△86	97.0	93.8
	文具	2,474	2,760	286	111.6	101.5
	販売用DVD	1,830	1,640	△189	89.6	86.5
	その他	3,311	3,364	53	101.6	
	小計	32,404	32,197	△207	99.4	94.9
トップブックス部門計	802	709	△92	88.4		
グランセナ部門計	195	207	12	106.3		
合計[連結]	33,402	33,114	△287	99.1		

3. 出店・改装の状況

- ・ 2012年3月に、当社最大規模となる2,300坪の超大型複合店「蔦屋書店 フォレオ菖蒲店」を埼玉県久喜市に出店いたしました。
- ・ 既存店1店を改装してカフェを導入し、BOOK&CAFEスタイルの業態に変更いたしました。

グループ合計店舗数 75 店舗 延床面積合計 37,870 坪

(1店当たり 平均 505 坪)

【2012年10月期 出店・改装実績】

出店	場所	開店日
BOOK&CAFEスタイルへの改装実施 蔦屋書店 横越バイパス店	新潟県	2012/1/28
蔦屋書店 フォレオ菖蒲店 新規出店	埼玉県	2012/3/17

4. 2013年10月期の業績予想

- ・ 出店につきましては、2012年11月にひたちなか店を新規出店し、12月には既存店1店を改装し、リニューアルオープンいたします。また、東北地方に超大型複合店舗の新規出店1店を予定しております。
- ・ 品揃え強化・MIX売場等の展開を進め、集客力向上を図ります。また引き続き仕入原価の見直しや運営効率化に取り組み、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。

【連結】

(百万円)

	2012年10月期		2013年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,114	100.0	38,300	100.0	115.7
経常利益	593	1.8	1,200	3.1	202.1
当期純利益	108	0.3	660	1.7	607.6
EPS(円)	9.05		55.00		

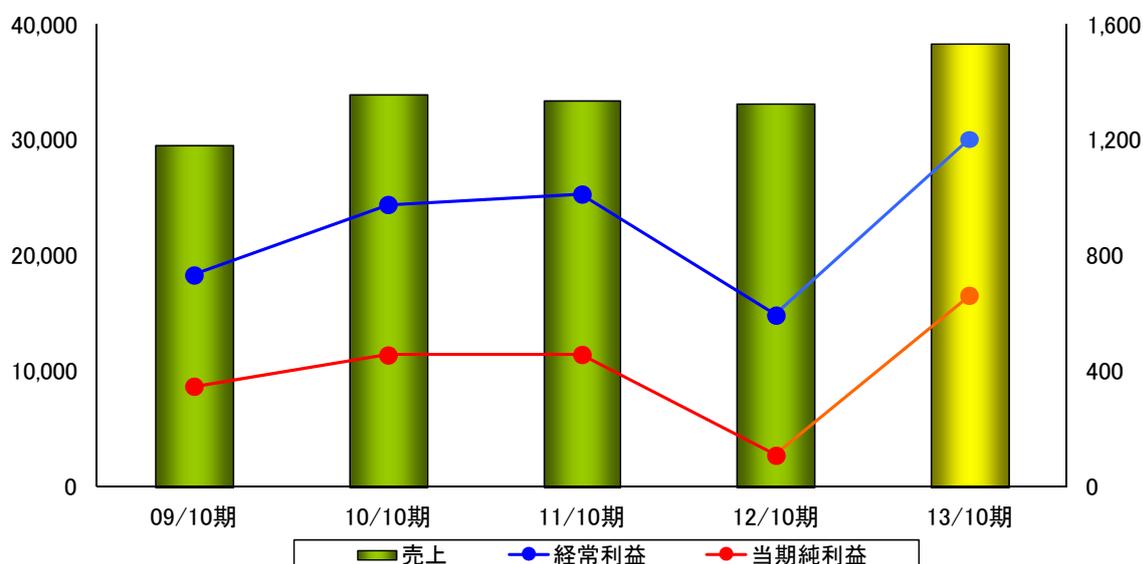
【蔦屋書店部門】

(百万円)

	2012年10月期		2013年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,197	100.0	37,300	100.0	115.8
経常利益	647	2.0	1,160	3.1	179.1
当期純利益	165	0.5	630	1.7	380.8
EPS(円)	13.79		52.50		

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

蔦屋書店

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海武則

TEL: 025(232)0008 / FAX: 025(265)1260

<http://www.topculture.co.jp>